

地域外交の 展開



国際平和創造拠点の 形成を目指して

県が取り組む地域外交の目指す姿として、「アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する国際平和創造拠点」を掲げています。

沖縄およびアジア・太平洋地域の振興発展の前提・基盤となる地域の「平和」を維持するために、平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信強化や平和に関する学術研究の促進などに取り組み、地域の緊張緩和と信頼醸成に貢献することを目指します。



済州フォーラムへの参加

今年5月に韓国済州特別自治道で開催された第19回「済州フォーラム」に池田副知事が参加し、「平和と繁栄のための韓日中地方リーダーシップ」と題した特別セッションで、オ・ヨンファン済州特別自治道知事、リュ・シャオミン中国海南省長とともに登壇しました。池田副知事は、県の国際交流や平和関連の取り組みを紹介し、今こそ国内外の各主体と緊密に連携し、分野横断的かつ総合的に沖縄独自の地域外交を展開していくことが必要であるとの考えを述べました。

また、同フォーラムでは、済州特別自治道、ドイツのオスナブリュック、フランスのベルダンと県が参加するグローバル平和都市連帯に係るセッションも行われ、県からは沖縄平和賞や平和の礎、平和祈念資料館などの取り組みを紹介しました。



済州フォーラムの様子

平和博物館づくりを通じたカンボジアとの交流

カンボジア地雷対策センター（CMAC）では、地雷除去を通して平和の大切さを伝える博物館を設立するにあたり、博物館運営や展示企画を担うスタッフを育成する必要があります。県では、令和5年11月から「JICA草の根協力事業」を活用し、沖縄平和協力センター（OPAC）とともに、CMACの平和博物館づくりの取り組みに協力し、沖縄県平和祈念資料館でのCMACの研修生の受け入れや、専門家の現地派遣などを通して、カンボジアの平和博物館の人材育成に取り組んでいます。



CMAC（カンボジア地雷対策センター）平和博物館



カンボジアへの専門家派遣の様子

問い合わせ

平和・地域外交推進課 電話：098-894-2226 FAX：098-869-7018

広告



10月は里親月間です
すべてのこどもに家庭のぬくもりを

